

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 4 月		工事概要	尾張沢跨線橋	
契約番号	2026000418			・ 橋梁調査業務 1 橋	
路線名	市道 中 3 6 号線			・ 橋梁補修設計業務 1 橋	
工事等名	道路メンテナンス事業（橋梁維持） 橋梁修繕設計（尾張沢跨線橋）業務委託				
工事等場所	南相馬市 鹿島区永渡字尾張沢 地内				
総工事費	当初請負		仕様概要	1. 設計図書及び仕様書（共通・特記） によること。 2. 詳細は監督員の指示によること。	
	当初設計				
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消 費 税 相 当 額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

最低制限価格の設定(算定)について

道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕設計(尾張沢跨線橋)業務委託

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事(業務委託)には ✓ の表示をしております。

工事関連業務委託に伴う最低限必要な費用=P(最低制限価格)

※下記の業種における設定範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

※「直接人件費」、「直接経費」、「諸経費」、「その他原価」、「一般管理費等」及び「技術料等経費」等、各経費項目によらない業務については、各設定範囲内で適宜の割合とする。

※ 業務を一括発注する場合(例えば、測量設計業務委託など)は、それぞれの算定式により算出された額の合計額とする。

測量業務

設定範囲	予定価格(入札書比較価格)の60%~82%
算定式	直接測量費+(諸経費×50%)

※諸経費=間接測量費+一般管理費等

土木及び建築関係コンサルタント業務

設定範囲	予定価格(入札書比較価格)の60%~81%
算定式	【土木設計】 直接経費+(その他原価×90%)+(一般管理費等×50%)
	【建築設計】 直接人件費+特別経費+(技術料等経費×60%)+(諸経費×60%)

地質調査業務

設定範囲	予定価格(入札書比較価格)の2/3~85%
算定式	直接調査費+(間接調査費×90%)+(解析等調査費×80%)+(諸経費+その他原価+一般管理費等)×50%

補償関係コンサルタント業務

設定範囲	予定価格(入札書比較価格)の60%~81%
算定式	直接人件費+直接経費+(その他原価×90%)+(一般管理費等×50%)

その他の業務委託等

設定範囲	予定価格(入札書比較価格)の60%~80%で適宜の割合
------	-----------------------------

南相馬市鹿島区位置図

位置図

委託箇所
尾張沢跨線橋

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、国院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号)昭61.東理.第261号

平成六年二月印刷

新日本航測株式会社調製



総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	D1 南相馬市 実施設計書 当初 11111111111 0 1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-08.04.01(0) 4 業務委託 11111111111当初道路メンテナンス事業(橋梁維持)橋梁修繕設計(尾張沢跨線橋)業務委託(2)		
	当 世 代		前 世 代
前払率 測量調査発注区分 冬期割増 設計発注区分 旅費交通費区分	30 00 建設コンサルタント 00 冬期割増なし 00 建設コンサルタント 01 率計上(X6:設計X8:用調)		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 特殊勤務費[円]		

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計業務					X6000
設計業務費 直接原価（直接経費を除く直接原価）					Y1S46111100
橋梁補修調査設計					Y2S46131100
尾張沢跨線橋					Y3S46131100
詳細調査					Y4S46111100
現地踏査	1.0	橋			V1010 00 施工 第0 -0001号表
調査計画	1.0	橋			V1020 00 施工 第0 -0002号表
形状調査（上部工） 既存資料なし	1.0	橋			V1031 00 施工 第0 -0003号表
形状調査（下部工） 既存資料なし	1.0	橋			V1032 00 施工 第0 -0004号表
一般図作成（上下部含む） 既存資料なし	1.0	橋			V1033 00 施工 第0 -0005号表
変状調査（上部工）	1.0	橋			V1041 00 施工 第0 -0006号表
変状調査（下部工）	1.0	橋			V1042 00 施工 第0 -0007号表

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
損傷図作成	1.0	橋			V1043 00 施工 第0 -0008号表
非破壊による鉄筋探査	4.0	ヶ所			V1051 00 施工 第0 -0009号表
コア採取	4.0	本			V1060 00 施工 第0 -0010号表
一軸圧縮強度試験	4.0	試料			F0001 00
中性化試験	4.0	試料			F0002 00
塗膜調査 (PCB) 廃掃法、安衛法	1.0	試料			F0005 00
塗膜調査 (鉛) 廃掃法、安衛法	1.0	試料			F00055 00
調査及び試験結果のとりまとめ	1.0	橋			V1150 00 施工 第0 -0011号表
橋梁補修設計					Y4S46111100
設計計画	1.0	橋			V2010 00 施工 第0 -0012号表
コンクリート補修設計 (上部工)	1.0	径間			V2021 00 施工 第0 -0013号表
コンクリート補修設計 (下部工)	2.0	基			V2022 00 施工 第0 -0014号表

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮装置補修設計	1.7	箇所			V2040 00 施工 第0 -0015号表
橋面防水設計	1.0	径間			V2050 00 施工 第0 -0016号表
鋼部材塗替塗装設計	1.0	径間			V2060 00 施工 第0 -0017号表
支承取替設計	1.7	支承線			V2080 00 施工 第0 -0018号表
地覆補修設計	1.0	橋			V2090 00 施工 第0 -0019号表
高欄補修設計(部分)	1.0	橋			V2110 00 施工 第0 -0020号表
施工計画	1.0	橋			V2131 00 施工 第0 -0021号表
概算工事費の算出	1.0	橋			V2132 00 施工 第0 -0022号表
関係機関との協議資料作成(JR協議)					Y4001
関係機関との協議資料作成(橋梁詳細設計)	1.0	業務			SC459 00 施工 第0 -0023号表
打合せ					Y2S46181100
打合せ					Y3S46181100

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打合せ					Y4S46181100
打ち合わせ(3回)	1	式			V2134 00 施工 第0 -0024号表
関係機関打合せ協議 JR打合せ	3.0	回			V2140 00 施工 第0 -0025号表
旅費交通費		式			Z0011
電子成果物作成費(D)		式			Z0014
電子成果物作成費					YZS46001410
電子成果物作成費(概略、予備又は詳細設計) 直接人件費入力(中間技術審査を除く)	1.0	式			SC900 00 施工 第0 -0026号表
直接経費計					
直接原価					
その他原価		式			
業務原価					
一般管理費等		式			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現地踏査 V1010	10	橋			施工 第0 -0001号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (外業) [55%]	2.5	人			R1430
技師(A) (外業) [55%]	2.5	人			R1440
技師(B) (外業) [55%]	2.5	人			R1450
技師(C) (外業) [55%]	0	人			R1460
技術員 (外業) [55%]	0	人			R1470
*** 合 計 ***	10	橋			
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調査計画 V1020	10	橋			施工 第0 -0002号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0.2	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	1.0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	1.0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	1.0	人			R5470
*** 合 計 ***	10	橋			
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
形状調査（上部工） V1031 既存資料なし	1	橋			施工 第0 -0003号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師（外業） [55%]	0	人			R1430
技師（A）（外業） [55%]	0	人			R1440
技師（B）（外業） [55%]	1.0	人			R1450
技師（C）（外業） [55%]	1.0	人			R1460
技術員（外業） [55%]	2.0	人			R1470
雑材料	10	%			#01
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
形状調査（下部工） V1032 既存資料なし	1	橋			施工 第0 -0004号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師（外業） [55%]	0	人			R1430
技師（A）（外業） [55%]	0	人			R1440
技師（B）（外業） [55%]	1.0	人			R1450
技師（C）（外業） [55%]	1.0	人			R1460
技術員（外業） [55%]	2.0	人			R1470
雑材料	10	%			#01
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
変状調査（上部工） V1041	1	橋			施工 第0 -0006号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師（外業） [55%]	0	人			R1430
技師（A）（外業） [55%]	0.5	人			R1440
技師（B）（外業） [55%]	0.5	人			R1450
技師（C）（外業） [55%]	1.0	人			R1460
技術員（外業） [55%]	0	人			R1470
雑材料	10	%			#01
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
変状調査（下部工） V1042	1	橋			施工 第0 -0007号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師（外業） [55%]	0	人			R1430
技師（A）（外業） [55%]	0.5	人			R1440
技師（B）（外業） [55%]	0.5	人			R1450
技師（C）（外業） [55%]	1.0	人			R1460
技術員（外業） [55%]	0	人			R1470
雑材料	10	%			#01
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
損傷図作成 V1043	1	橋			施工 第0 -0008号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	0.5	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	0.5	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
非破壊による鉄筋探査 V1051	10	ヶ所			施工 第0 -0009号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (外業) [55%]	0	人			R1430
技師(A) (外業) [55%]	0	人			R1440
技師(B) (外業) [55%]	0.25	人			R1450
技師(C) (外業) [55%]	0.5	人			R1460
技術員 (外業) [55%]	0.5	人			R1470
雑材料	10	%			#01
*** 合 計 ***	10	ヶ所			
*** 単位当たり ***	1	ヶ所			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コア採取 V1060	10	本			施工 第0 -0010号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (外業) [55%]	0	人			R1430
技師(A) (外業) [55%]	0	人			R1440
技師(B) (外業) [55%]	0.5	人			R1450
技師(C) (外業) [55%]	1.5	人			R1460
技術員 (外業) [55%]	1.0	人			R1470
雑材料	10	%			#01
*** 合 計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調査及び試験結果のとりまとめ V1150	1	橋			施工 第0 -0011号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	1.0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	1.5	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	2.5	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計計画 V2010	1	橋			施工 第0 -0012号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0.5	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	1.0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	1.5	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート補修設計 (上部工) V2021	1	径間			施工 第0 -0013号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師 (A) (内業) [55%]	0.5	人			R5440
技師 (B) (内業) [55%]	2.0	人			R5450
技師 (C) (内業) [55%]	2.5	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	2.5	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	径間			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート補修設計 (下部工) <small>V2022</small>	1	基			施工 第0 -0014号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師 (A) (内業) [55%]	0	人			R5440
技師 (B) (内業) [55%]	0.5	人			R5450
技師 (C) (内業) [55%]	1.0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	1.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮装置補修設計 V2040	1	箇所			施工 第0 -0015号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	0.0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	0.5	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	1.5	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	1.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面防水設計 V2050	1	径間			施工 第0 -0016号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	0.5	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	1.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	径間			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼部材塗替塗装設計 V2060	1	径間			施工 第0 -0017号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	1.0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	1.0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	2.0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	2.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	径間			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
支承取替設計 V2080	1	支承線			施工 第0 -0018号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	0.5	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	2.0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	2.0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	1.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	支承線			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地覆補修設計 V2090	1	橋			施工 第0 -0019号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	0.5	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	1.5	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	1.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高欄補修設計（部分） V2110	1	橋			施工 第0 -0020号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 （内業） [55%]	0	人			R5430
技師（A） （内業） [55%]	0	人			R5440
技師（B） （内業） [55%]	0.5	人			R5450
技師（C） （内業） [55%]	1.5	人			R5460
技術員 （内業） [55%]	1.0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工計画 V2131	1	橋			施工 第0 -0021号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	1.0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	2.0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	2.0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
概算工事費の算出 V2132	1	橋			施工 第0 -0022号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	1.0	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	2.0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	2.0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	橋			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打ち合わせ(3回) V2134	1	式			施工 第0 -0024号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	1.0	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	1.5	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	0.5	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	式			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
関係機関打合せ協議 V2140 JR打合せ	1	回			施工 第0 -0025号表 特単単価適用日：08年04月01日
主任技師 (内業) [55%]	0.5	人			R5430
技師(A) (内業) [55%]	0.5	人			R5440
技師(B) (内業) [55%]	0	人			R5450
技師(C) (内業) [55%]	0	人			R5460
技術員 (内業) [55%]	0	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	回			

電子成果物作成費(概略、予備又は詳細設計) SC900 直接人件費入力(中間技術審査を除く)	1	式			施工 第0 -0026号表
電子成果品作成費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A= B=1 設計業務等標準積算基準 3 - 1 - 4					

道路メンテナンス事業（橋梁維持）
橋梁修繕設計（尾張沢跨線橋）業務委託

特 記 仕 様 書

南相馬市

第1条 適用

本特記仕様書は、道路メンテナンス事業（橋梁維持）橋梁修繕設計（尾張沢跨線橋）業務委託に適用する。本特記仕様書に明示なき一般事項は「福島県土木部共通仕様書（業務委託編）」に基づく。

第2条 履行期間

本業務の履行期間は契約の翌日から令和9年3月19日までとする。

第3条 履行場所

本業務の履行場所は福島県南相馬市鹿島区永渡字尾張沢地内とする。

第4条 使用図書

本業務で使用する図書は、共通仕様書のほか、福島県橋梁調査点検マニュアル（案）（平成30年1月福島県土木部）とする。

第5条 目的

本業務は、既存橋梁の補修にあたり、劣化の範囲や程度の調査、劣化原因の把握、補修方法や劣化原因の除去の検討、対策工事に必要な詳細設計することを目的とする。

第6条 対象橋梁

点検の対象とする橋梁は別途に示すものとする。

なお、本業務は、既存橋梁の詳細調査及び補修工事の詳細設計を対象とし、耐力向上等を目的とした構造計算を含む補強工事の詳細設計は含まない。

第7条 詳細調査

既存橋梁の劣化状況や原因を把握するため、下記の調査及び試験を行う。なお、調査及び試験の箇所は、事前に監督員と協議するものとする。

（1）現地踏査

調査計画書を作成するために現地を踏査するもので、詳細調査時に必要となる資機材の確認や運搬経路、交通量、想定される交通規制（交通整理員の配置人数等）、橋梁の劣化程度、その他調査を実施するために必要な現場の概況を確認する。

（2）調査計画

業務の目的や内容、既存点検資料、現地踏査結果等をもとに、劣化原因を把握するために必要な試験等を実施するための調査計画書を作成する。
詳細調査に当たり、関係機関との調整が必要な場合は、諸手続を行い、協議結果を反映する。

（3）形状調査及び一般図作成

補修設計に必要な現況形状を測定する。また、図面（一般図）を作成する。

既存資料（建設時の竣工図や過年度調査成果等）が無い場合は、構造形式を確認し、必要寸法を測定のうえ一般図を作図する。

既存資料を活用できる場合は、現地にて整合性を確認のうえ、転写する。

（４）損傷図作成

橋梁全体に対して外観の変状調査（クラックスケールによるひび割れ幅の確認を含む）を行い、劣化の位置や範囲を確認し、損傷図を作成する。

変状調査は、近接目視を基本とし、ひび割れ、遊離石灰の析出状況、漏水、錆汁、鋼材状況（亀裂の有無、腐食状況が目視により確認できる場合）を調査する。

また、可能な限り同時に打診ハンマーによる点検も実施し、コンクリートに浮きが生じていないか確認する。

（５）調査及び試験結果のとりまとめ

変状調査や試験結果等の調査結果をとりまとめ、各部位の劣化状況について、『福島県橋梁点検マニュアル』（以下マニュアルと称す）に基づき、健全度ランクを判定するとともに劣化原因を推測する。また、各部位の劣化原因と劣化度を推測するにあたっては、マニュアルに記載されない評価等に関しては、コンクリート標準示方書（維持管理編）等の指針・便覧等の基準を参考にとりまとめるものとする。

第8条 補修設計

詳細調査で確認した既存橋梁の劣化状況や原因から、補修方法や劣化原因の除去の検討、対策工事に必要な詳細設計を行う。

（１）設計計画

既存資料を収集し、業務の作業計画を立て、業務計画書を作成する。

（２）コンクリート補修設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

対象とする補修工法は、ひび割れ補修工、断面修復工、表面保護工（表面被覆工法、表面含浸工法、剥落防止工法）又はこれに類する補修とする。また、耐力を回復させるために実施する補強計算は含まない。

（３）支承取替設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

劣化した支承の取替を行うものであり、施工に必要な設計計算を含む。

（４）地覆補修設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

劣化した地覆の打替えの設計を行うものである。拡幅等の荷重増加に伴う床版応力照査を含まない。

第9条 施工計画

施工計画として工程計画、施工要領、施工計画図（数量計算を含む）を作成する。応力計算が伴う仮橋、締切工などは含まない。

第10条 成果品の提出

本業務の成果品は以下のものとする。

1. 概要版（A3）：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
2. 各種調査（試験）結果：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
3. 調査写真：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
4. 設計図：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
5. 数量計算：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
6. 報告書：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
7. その他監督員の指示するもの。

第11条 貸与資料

本業務の貸与資料は以下のものとする。

1. 橋梁台帳
2. その他業務履行上必要な発注者の所有する資料

第12条 打合せ等

業務に関する打合せ記録の整理は受注者が行うものとし、打合せ後速やかに提出する。なお、打合せ回数は関係機関との打ち合わせも含め全6回を予定するものとし、業務着手時、完了時及び関係機関との打ち合わせ時には管理技術者が出席する。

第13条 緊急対応の判断

調査する橋梁に第三者等へ被害の恐れが懸念される状態、構造上安全性が著しく損なわれている状態等が確認された際は、速やかに監督員に報告し、対応を協議する。

第14条 安全管理

交通状況に即した適切な保安施設を設けるなどして、安全管理に努めるものとする。緊急連絡体制を事前に構築し、その体制に基づいて事故発生時等は迅速に必要な対応を行うものとする。

第15条 管理技術者

本業務の管理技術者は、「福島県土木部共通仕様書（業務委託編）」第1107条及び第1107条「総則の運用」に基づくものとする。

- 2 本業務では、「福島県土木部共通仕様書（業務委託編）」第1107条「総則の

運用」に以下の資格を追加する。

- (1) ふくしまME (防災) (ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会)
- (2) ふくしまME (保全) (ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会)
- (3) コンクリート診断士 ((公社) 日本コンクリート学会)
- (4) 土木鋼構造診断士 ((一社) 日本鋼構造協会)
- (5) 一級構造物診断士 ((一社) 日本構造物診断技術協会)

3 ただし、ふくしまME (防災) の資格保有者を管理技術者として配置する場合は、橋梁 (コンクリート橋) 又は橋梁 (鋼橋) の補修設計業務における担当技術者としての履行実績を1件以上有するものとし、発注者へ管理技術者の経歴書を提出する際に、該当業務における業務実績情報システム (以下「テクリス」という。) の業務実績情報の写し等を併せて提出すること。

【テクリス業務実績】

業務分野：鋼構造・コンクリート
業務段階1：橋梁
業務段階2：維持管理
業務段階3：維持・補修計画

4 第3項の履行実績について、提出書類に虚偽の記載をした場合においては、工事等の請負契約に係る入札参加資格制限等の措置を行うことがある。

5 受注者は、第2項に記載している民間資格保有者を管理技術者へ配置した場合は、テクリスの業務概要に「民間資格活用：○○○」 (○○○は、活用を図った資格) と記載すること。

第16条 照査技術者による報告

照査技術者は発注者の指示にする業務の節目及び業務完了した時は、照査について発注者に報告するものとする。なお、照査技術者自身による照査の報告は1回を想定している。

第17条 新技術活用の検討

受注者は、詳細設計における工法等の選定においては、国土交通省の新技術情報提供システム (NETIS) 等を利用し、有用な新技術・新工法を積極的に活用するため、「従来技術」との比較検討を行うものとし、監督員と協議のうえ、採用する工法等を決定した後に設計を行うものとする。「NETIS掲載期間終了技術」は新技術の対象外とし、「従来技術」とは技術の優位性等により一般に活用されている技術を示す。なお、本検討に係る費用は諸経費に含まれるものとする。

既存資料（建設時の竣工図や過年度調査成果等）が無い場合は、構造形式を確認し、必要寸法を測定のうえ一般図を作図する。

既存資料を活用できる場合は、現地にて整合性を確認のうえ、転写する。

（４）損傷図作成

橋梁全体に対して外観の変状調査（クラックスケールによるひび割れ幅の確認を含む）を行い、劣化の位置や範囲を確認し、損傷図を作成する。

変状調査は、近接目視を基本とし、ひび割れ、遊離石灰の析出状況、漏水、錆汁、鋼材状況（亀裂の有無、腐食状況が目視により確認できる場合）を調査する。

また、可能な限り同時に打診ハンマーによる点検も実施し、コンクリートに浮きが生じていないか確認する。

（５）調査及び試験結果のとりまとめ

変状調査や試験結果等の調査結果をとりまとめ、各部位の劣化状況について、『福島県橋梁点検マニュアル』（以下マニュアルと称す）に基づき、健全度ランクを判定するとともに劣化原因を推測する。また、各部位の劣化原因と劣化度を推測するにあたっては、マニュアルに記載されない評価等に関しては、コンクリート標準示方書（維持管理編）等の指針・便覧等の基準を参考にとりまとめるものとする。

第8条 補修設計

詳細調査で確認した既存橋梁の劣化状況や原因から、補修方法や劣化原因の除去の検討、対策工事に必要な詳細設計を行う。

（１）設計計画

既存資料を収集し、業務の作業計画を立て、業務計画書を作成する。

（２）コンクリート補修設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

対象とする補修工法は、ひび割れ補修工、断面修復工、表面保護工（表面被覆工法、表面含浸工法、剥落防止工法）又はこれに類する補修とする。また、耐力を回復させるために実施する補強計算は含まない。

（３）支承取替設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

劣化した支承の取替を行うものであり、施工に必要な設計計算を含む。

（４）地覆補修設計

既存資料等をもとに劣化に対する対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査及び報告書作成を行う。

劣化した地覆の打替えの設計を行うものである。拡幅等の荷重増加に伴う床版応力照査を含まない。

第9条 施工計画

施工計画として工程計画、施工要領、施工計画図（数量計算を含む）を作成する。応力計算が伴う仮橋、締切工などは含まない。

第10条 成果品の提出

本業務の成果品は以下のものとする。

1. 概要版（A3）：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
2. 各種調査（試験）結果：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
3. 調査写真：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
4. 設計図：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
5. 数量計算：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
6. 報告書：電子媒体正副2部及び簡易製本版1部
7. その他監督員の指示するもの。

第11条 貸与資料

本業務の貸与資料は以下のものとする。

1. 橋梁台帳
2. その他業務履行上必要な発注者の所有する資料

第12条 打合せ等

業務に関する打合せ記録の整理は受注者が行うものとし、打合せ後速やかに提出する。なお、打合せ回数は関係機関との打ち合わせも含め全6回を予定するものとし、業務着手時、完了時及び関係機関との打ち合わせ時には管理技術者が出席する。

第13条 緊急対応の判断

調査する橋梁に第三者等へ被害の恐れが懸念される状態、構造上安全性が著しく損なわれている状態等が確認された際は、速やかに監督員に報告し、対応を協議する。

第14条 安全管理

交通状況に即した適切な保安施設を設けるなどして、安全管理に努めるものとする。緊急連絡体制を事前に構築し、その体制に基づいて事故発生時等は迅速に必要な対応を行うものとする。

第15条 管理技術者

本業務の管理技術者は、「福島県土木部共通仕様書（業務委託編）」第1107条及び第1107条「総則の運用」に基づくものとする。

- 2 本業務では、「福島県土木部共通仕様書（業務委託編）」第1107条「総則の

運用」に以下の資格を追加する。

- (1) ふくしまME (防災) (ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会)
- (2) ふくしまME (保全) (ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会)
- (3) コンクリート診断士 ((公社) 日本コンクリート学会)
- (4) 土木鋼構造診断士 ((一社) 日本鋼構造協会)
- (5) 一級構造物診断士 ((一社) 日本構造物診断技術協会)

3 ただし、ふくしまME (防災) の資格保有者を管理技術者として配置する場合は、橋梁 (コンクリート橋) 又は橋梁 (鋼橋) の補修設計業務における担当技術者としての履行実績を1件以上有するものとし、発注者へ管理技術者の経歴書を提出する際に、該当業務における業務実績情報システム (以下「テクリス」という。) の業務実績情報の写し等を併せて提出すること。

【テクリス業務実績】

業務分野：鋼構造・コンクリート
業務段階1：橋梁
業務段階2：維持管理
業務段階3：維持・補修計画

4 第3項の履行実績について、提出書類に虚偽の記載をした場合においては、工事等の請負契約に係る入札参加資格制限等の措置を行うことがある。

5 受注者は、第2項に記載している民間資格保有者を管理技術者へ配置した場合は、テクリスの業務概要に「民間資格活用：○○○」 (○○○は、活用を図った資格) と記載すること。

第16条 照査技術者による報告

照査技術者は発注者の指示にする業務の節目及び業務完了した時は、照査について発注者に報告するものとする。なお、照査技術者自身による照査の報告は1回を想定している。

第17条 新技術活用の検討

受注者は、詳細設計における工法等の選定においては、国土交通省の新技術情報提供システム (NETIS) 等を利用し、有用な新技術・新工法を積極的に活用するため、「従来技術」との比較検討を行うものとし、監督員と協議のうえ、採用する工法等を決定した後に設計を行うものとする。「NETIS掲載期間終了技術」は新技術の対象外とし、「従来技術」とは技術の優位性等により一般に活用されている技術を示す。なお、本検討に係る費用は諸経費に含まれるものとする。

【数量総括表】

			K重要-17					
			尾張沢跨線橋					
			市道中36号線					
橋梁コード								
橋梁名								
路線名								
橋長 (m)			21.5					
幅員 (m)			8.2					
橋面積 (m2)			176.3					
橋面積補正 *1			1.0					
橋種			単純鋼合成H桁 (耐候性)					
径間数			1					
径間面積			176.3					
径間面積補正 *2			1.0					
下部工基数			2					
			当初数量	参考積算数量				
単位				コ-ト*	積算数量	補正式		
詳細調査	1. 現地踏査		橋	1.0	V1010	1.0		
	2. 調査計画		橋	1.0	V1020	1.0		
	3. 形状調査及び一般図作成	既存資料なし	形状調査 (上部) *1	橋	1.0	V1031	1.0	=1*1
			形状調査 (下部) *1	橋	1.0	V1032	1.0	=1*1
		既存資料あり	一般図作成*1	橋	1.0	V1033	1.0	=1*1
			形状調査	橋		V1034		
	4. 損傷図作成		橋	1.0	V1041	1.0	=1*1	
			橋	1.0	V1042	1.0	=1*1	
			橋	1.0	V1043	1.0	=1*1	
	5. 鉄筋探査		箇所	4.0	V1051	4.0		
			箇所		V1052			
	6. コア採取		本	4.0	V1060	4.0		
	7. 一軸圧縮強度試験		試料	4.0	F0001	4.0		
	9. 中性化試験		試料	4.0	F0002	4.0		
	13. 塗膜調査 (PCB)		試料	1.0	F0005	1.0		
14. 塗膜調査 (鉛)		試料	1.0	F00055	1.0			
15. 調査及び試験結果のとりまとめ*1		橋	1.0	V1150	1.0	=1*1		
補修設計	1. 設計計画		橋	1.0	V2010	1.0		
	2. コンクリート補修設計	上部工 (径間)	径間	1.0	V2021	1.0	=1*1	
		下部工 (基)	基	2.0	V2022	2.0		
	4. 伸縮装置補修設計		箇所	2.0	V2040	1.7	=0.3+0.7×2	
	5. 橋面防水設計		径間	1.0	V2050	1.0	=0.3+0.7×1	
	6. 鋼部材塗替塗装設計		径間	1.0	V2060	1.0	=0.3+0.7×1	
	8. 支承取替設計		支承線	2.0	V2080	1.7	=1+(2-1)×0.7	
	9. 地覆補修設計*1		橋	1.0	V2090	1.0	=1*1	
	10. 高欄補修設計	全面*1	橋		V2100			
		部分*1	橋	1.0	V2110	1.0	=1*1	
施工計画		橋	1.0	V2131	1.0			
概算工事費の算出		橋	1.0	V2132	1.0			
安全施設	橋梁点検車		日		V2133			
	高所作業車		日		V2136			
	交通誘導員		人		R0900			
	工事管理者		人		V3010			
	列車見張員		人		V3020			
協議	関係機関との協議資料作成		式	1.0	SC459	1.0		
	打ち合わせ		式	1.0	V3134	1.0		
	関係機関打合せ協議		回	3.0	V2140	3.0		

(数量算出条件)

- ・今後の維持管理にも配慮し、全橋について、概略一般図作成 (地上部)、損傷図作成を行うものとしています。
- ・舗装打換えは、橋面防水設計に含まれています。橋面防水を行う場合は、伸縮継手の取替えが必要となるためこれを計上しています。
- ・現地調査の結果、補修数量・部位が増減することがあります。